

木更津市消防団だより



「纏」 まとめ

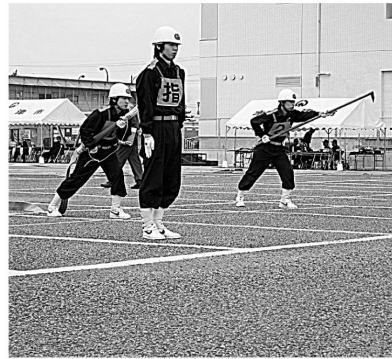
2008.8月号

回 覧

発行元
木更津市消防団
消防団事務局
(消防総務課)
TEL 22-0119
2008年8月発行
VOL.4

第49回 木更津市消防操法大会

6月15日(日)市役所西側駐車場で消防操法大会を開催いたしました。同大会は、迅速、的確、かつ実践的な基本訓練の能力向上を図り、火災防御に万全を期することを目的として実施いたしました。



競技の結果

【団体総合】

▽優勝 5分団(鎌足地区)
▽準優勝 7分団(中郷地区)

《ポンプ車の部》

▽優勝 8分団2部(下内橋・戸国地区)
▽準優勝 1分団1部(中央地区)
▽3位 4分団3部(久津間地区)

《小型ポンプの部》

▽優勝 5分団3部(高倉・草敷地区)
▽準優勝 5分団2部(下矢那地区)
▽3位 7分団1部(望陀・有吉地区)
▽4位 8分団7部(田川地区)
▽5位 7分団2部(大寺・十日市場地区)
▽6位 2分団5部(上烏田地区)

【最優秀個人賞】 《ポンプ車の部》

指揮者 鳥海直樹(4分団1部)
1番員 伊藤紀幸(8分団4部)
2番員 岩崎翔太(4分団3部)
3番員 時田 薫(4分団3部)
4番員 中村昭彦(8分団2部)



【最優秀個人賞】 《小型ポンプの部》

指揮者 本吉 渉(5分団3部)
1番員 間弓高志(5分団2部)
2番員 小林和則(5分団2部)
3番員 安齋英明(5分団2部)
3番員 鈴木正幸(8分団7部)



優勝チーム紹介

◎8分団2部(ポンプ車の部)

(指揮者)引藤 崇(1番員) 佐藤哲夫
(2番員)川原 修(3番員) 吉田好則
(4番員)中村昭彦
部長コメント 引藤 俊介
閉会式での結果発表で、優賞「第8分

団第2部」と呼ばれた瞬間、今まで練習してきた日々を思い出しました。約2ヶ月間、地域、家族、OB、皆様方のご協力の下、練習してくる事ができました。そして要員5名、2部団員の成果が、優勝という結果で残せたことを、本当に嬉しく思います。この実績を地域の防災に役立てたいと思います。



◎5分団3部(小型ポンプの部)

(指揮者)本吉 渉(1番員) 茂田直道
(2番員) 中山 聡(3番員) 重城一生
部長コメント 森川 新一郎
4年前、県大会に君津支部代表として、当時指揮者で出場しました。今回は部長としてチームをまとめ、目標に向かって優勝でき率直に嬉しく思います。

要員4名は同級生で、チームワークがよく「最高のメンバー」です。要員に限らず5分団第3部は、団結も木更津市で1番だと思っています。今回の優勝は、全員で勝ち取ったものだと思います。



君津支部 消防操法大会

(助)千葉県消防協会君津支部主催「第29回 君津支部4市消防操法大会」が7月5日、木更津市役所西側駐車場で開催されました。ポンプ車、小型ポンプの部門に各市代表8チームが出場しました。

木更津市からは、ポンプ車の部に8分団2部(下内橋・戸国地区)・小型ポンプの部に5分団3部(高倉・草敷地区)が出場いたしました。

競技の結果

《ポンプ車の部》

▽優勝 君津市消防団
▽準優勝 富津市消防団
▽3位 袖ヶ浦市消防団
▽4位 木更津市消防団

《小型ポンプの部》

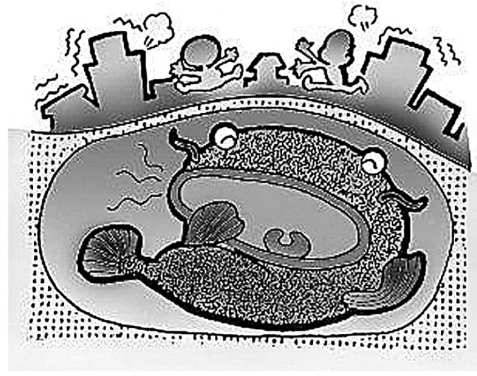
▽優勝 富津市消防団
▽準優勝 君津市消防団
▽3位 木更津市消防団
▽4位 袖ヶ浦市消防団

個人の部では、ポンプ車の部で8分団2部の指揮者引藤 崇、3番員吉田好則の2名が最優秀個人賞を受賞いたしました。



災害の備えは！

9月1日は防災の日です。そもそも防災の日は、大正12年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れないという事と、この時期に多い台風などの心構えの2つの意味を含めて昭和35年に制定されました。皆様もこの時期に確認も含めもう一度見直しをしましょう。



●地震による災害

私達の住んでいる日本は世界的に見ても非常に地震の多い国です。過去においても、阪神淡路大震災・新潟県中越沖地震・能登半島沖地震等の大地震が発生しています。またつい最近では、今年の6月に岩手・宮城内陸地震が発生しました。

まずは身の安全を

・揺れを感じたら大きな家具から離れ、丈夫な机やテーブルなどの下に身をかくす。

・座ぶとんなどが身近にあれば、頭部を保護する。

あわてず冷静に

・窓や戸を開けて、出口を確保する。
・大揺れは1分程度でおさまるので周囲の状況をよく確かめ、あわてて外へ飛び出すことなく落ち着いて行動する。

・使用中のガス器具、ストーブなどは、すばやく火を消す。
・電気器具は電源プラグを抜く。

避難する時は

・家から避難する場合は、ブレーカーを切つてから避難する。

・避難をするときは、必ず徒歩で避難する。
・狭い路地や塀ぎわは、瓦などが落ちてきたり、ブロック塀やコンクリート塀が倒れてきたりするのでなるべく通らない。
・海の近くにいた場合は、海岸線から離れ、高台などの安全な場所に移動する。

自動車の運転中は

・道路の左側か空地に停車し、エンジンを止める。
・カーラジオで災害情報を聞く。
・避難するときは、キーをつけたままにする。

*緊急地震速報とは？

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データなどから、各地で地震の到達時刻や震度を推定し、可能な限り素早く知らせる情報です。ただし、緊急地震速報は、大きな揺れが来る数秒から数十秒前に発表するものです。震源に近いところでは情報が間に合わないことがありますので、予め何をしたら良いか決めておく必要があります。

●台風による災害

最近の台風は地球温暖化の影響で、海水の温度が日本近海でも高いため、勢力の強い台風が来る傾向にあり、今後は更に大きな台風が来たり、発生の数が増える予想されます。

台風が来る前に

・事前に避難場所等の確認をしておく。
・非常用持ち出し品を用意しておく。(懐中電灯・携帯ラジオ・飲料水等)
・植木鉢等の飛ばされやすいものは家の中にいれる。
・雨戸を閉める。

台風が接近した時は

・テレビ、ラジオ等で最新の台風情報を確認する。
・外出はしない。
・雨で増水した小川や側溝は境界が見えにくく、また冠水した道路上では、ふたのはずれたマンホール等があり転落する危険があります。

・山崩れ・がけ崩れも起こりやすくなりま
す。このような危険な場所には絶対に近づかない。

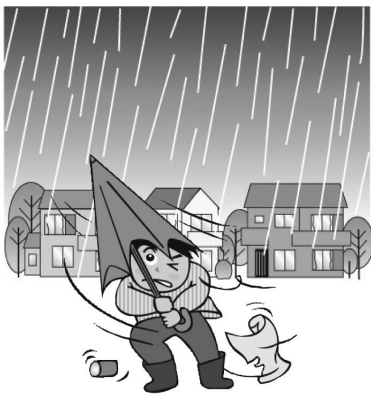
万が一避難する時は

・防災機関などから避難の指示や勧告があったら、すばやく避難する。
・必ず火の始末をする。
・持ち物は最小限にして背中に背負うなどして、両手は自由に使えるようにしておく。

*地震や台風の後は家の中の後片付けもありますが、同時に次の事も確認してください。

・屋根瓦のずれはないか。
・外壁の損傷はないか。
・配水管の漏水がないか。

ここで挙げたのはほんの一例です。一人一人がもつと意識を高め、災害に対して備えていけば、被害を少なくすることができます。我々消防団はこのような災害が発生した場合は、速やかに出動し、地域を守るための活動も行っています。



行事予定

木更津港まつり
花火大会警備 8月
第31回早出し放水 11月
競技大会 11月
歳末特別警戒 12月

消防団員募集!

木更津市消防団では、「私たちの街、木更津を皆の力で守る! 目指せ!ゼロ災害木更津!」というスローガンを掲げ、活動しております。
「私たちの街木更津を共に守る仲間を随時募集しております。お問い合わせ先
木更津市消防本部消防総務課
☎(22)0119
またはお近くの消防団まで

平成20年 火災件数 (7/20現在)

火災種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
建物火災	3	3	6	4	2	0	3	21
車両火災	1	0	0	0	0	0	0	1
林野火災	0	2	3	0	0	0	0	5
その他	0	1	1	0	0	0	0	2
合計	4	6	10	4	2	0	3	29